



3S/5S改善活動による 人材育成とデジタル改革①【導入コース】

DX人材育成支援事業

目次

ページ数	内容	ページ数	内容
P.1	・・・ 表紙	P.11	・・・ 第3回 情報の3S
P.2	・・・ 目次	P.12	・・・ 第4回 ビジネスモデル変革とIoT化の体験学習①
P.3	・・・ 会社概要	P.13	・・・ 第4回 ビジネスモデル変革とIoT化の体験学習②
P.4	・・・ 研修の目的	P.14	・・・ 最後に...
P.5	・・・ 研修カリキュラム		
P.6	・・・ 第1回 DX化に向けた事前調査		
P.7	・・・ 第1回 3Sの講話内容		
P.8	・・・ 第2回 キックオフ大会		
P.9	・・・ 第2回 実習内容		
P.10	・・・ 第3回 場所・モノの3Sから情報の3Sへ		

会社概要

社名	枚岡合金工具株式会社
創業	1949年3月
設立	1950年4月
資本金	1,000万円
業務内容	◆冷間鍛造金型の設計/製造/販売 ◆ITサービス事業 ◆3Sコンサルティング事業

金型
16名

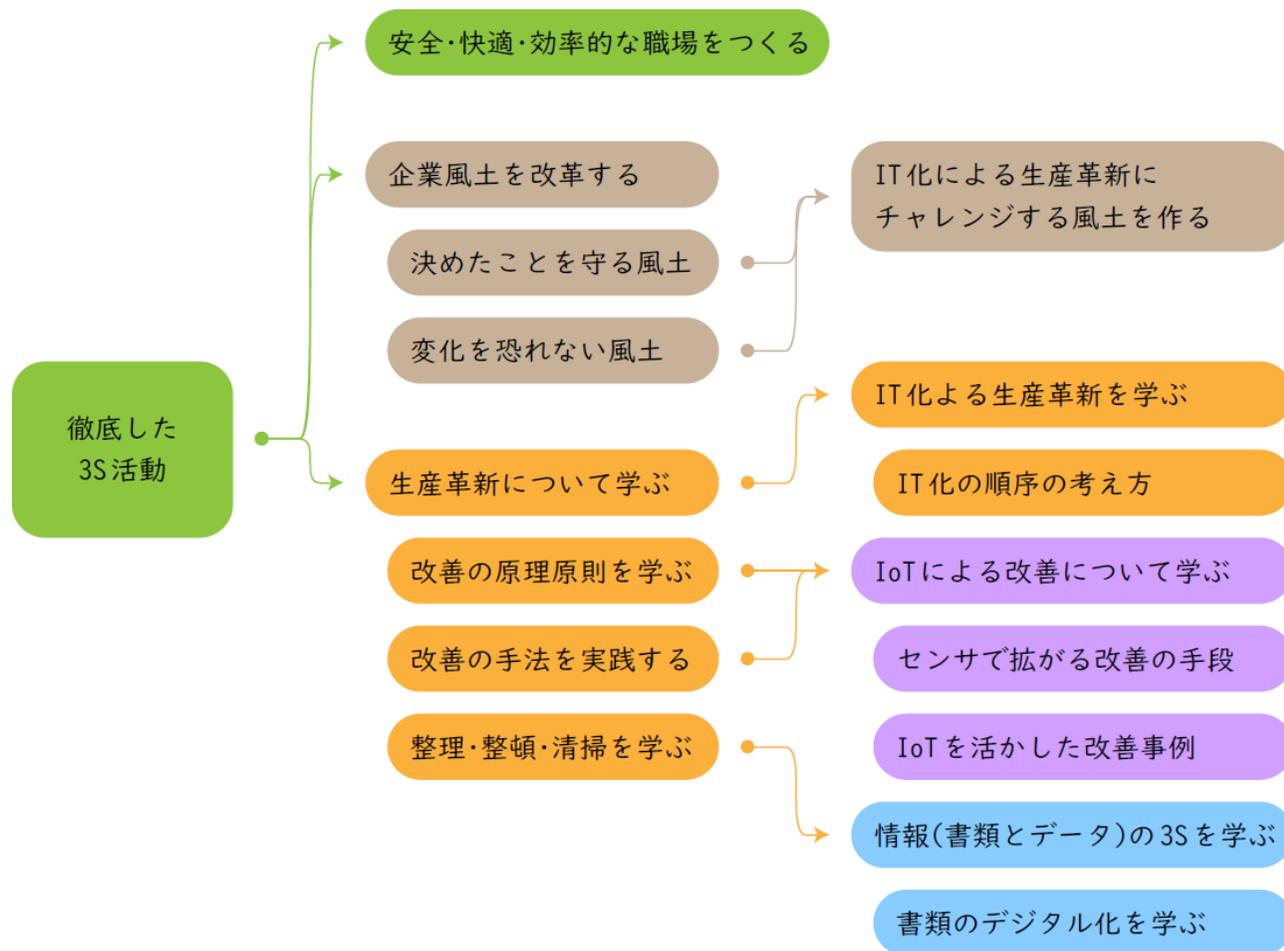
IT
6名

教育
3名

研修の目的（3SとDXの繋がりについて）

右図の通り、3S活動を通じた『企業風土改革』『生産革新』を実践した上で、3Sの原理をベースに『IT化』『IoT活用』『情報の3S』について段階を踏んで学んで頂けます。

20年以上にわたる自社での徹底した3S活動と、町工場としては異例のスピードでのIT化の取り組み経験をもとに、受講企業様の現地での実践と枚岡合金工具での現場見学を交えて研修を行います。



研修カリキュラム

回数	所要時間	内容
1回目	13:00～17:00 (実施企業にて)	【DX化に向けた事前調査と講話】 <ul style="list-style-type: none">・ 幹部及び社員からのヒヤリング（現状の取組について）・ 現場（工場/事務所等）のウォッチング・ 社員の心に火をつける講話 【調査報告書】 （2週間後） <ul style="list-style-type: none">・ 現場の課題点を分析し、対策をアドバイス
2回目	13:30～16:30 (実施企業にて)	【DX化へのキックオフ大会&目標の設定】 <ul style="list-style-type: none">・ 3SとDXの繋がりについて解説・ グループワークにてDX化への取組み目標の設定
3回目	13:30～16:30 (実施企業にて)	【3Sを学び実践する】 <ul style="list-style-type: none">・ 3S（整理・整頓・清掃）の極意をわかりやすく解説し、実践
4回目	13:30～16:30 (枚岡合金にて)	【枚岡合金にてビジネスモデル変革とIoT化の体験学習】 <ul style="list-style-type: none">・ IoTの活用の体験学習・ デジタル化の実例の見学

第1回 DX化に向けた事前調査

コンサルティングを始めるにあたり、今、現場で困っていることや3Sの実施状況、DX化の状況等、現場担当者からのヒアリングなどを行います。

現場（工場・事務所など）を一緒にウォッチングし、問題点を洗い出します。

事前調査の内容を持ち帰り、2週間前後で調査報告書を提出致します。

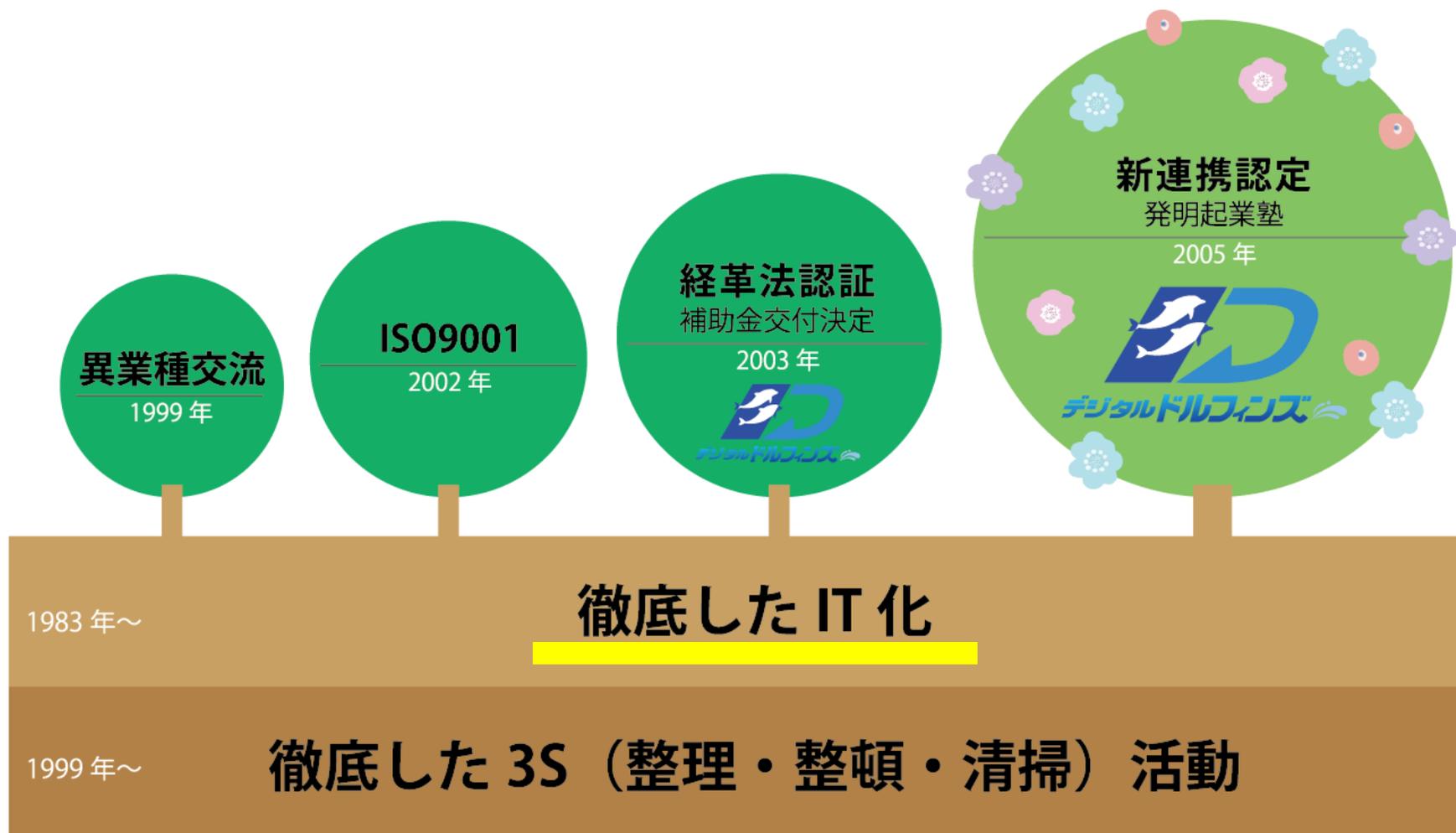
▼事前調査スケジュール

当日のスケジュール	
14:30 ~	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング業務の具体的内容と実施日の確認 ・代表者様からヒヤリング ・現場の写真の確認（当日までに撮っておいてください） <ul style="list-style-type: none"> 全体外観 工場（内部全体、作業風景、作業台、トイレ、掲示板） 事務所（内部全体、机の上、書庫の中、トイレ、掲示板）
15:00 ~	<ul style="list-style-type: none"> ・ご担当者からヒヤリング（4名～6名） 3S（5S）活動の取組み状況及びデジタル化の問題点等をお聞きます ・現場ウォッチング <ul style="list-style-type: none"> ・工場 ・事務所
16:40 ~	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回（キックオフ大会）実施内容の打合せ

◀ 調査報告書

第1回 3Sの講話内容

-徹底したIT化から生まれたもの-



第2回 キックオフ大会

<心に火がつく徹底3Sの秘訣>

-人を育み、利益をもたらす3Sの秘訣-



▲当日の代表挨拶の様子

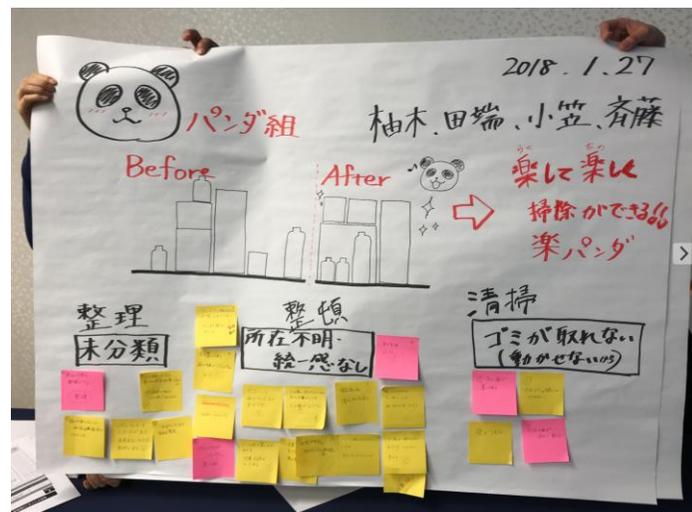
- 1) 全社員の物心両面の幸せの追求のために
- 2) なぜ3S活動が、社員を育み会社を成長させるのか
- 3) 3S活動から、IT化、IoT化、DX化への道のり

第2回 実習内容

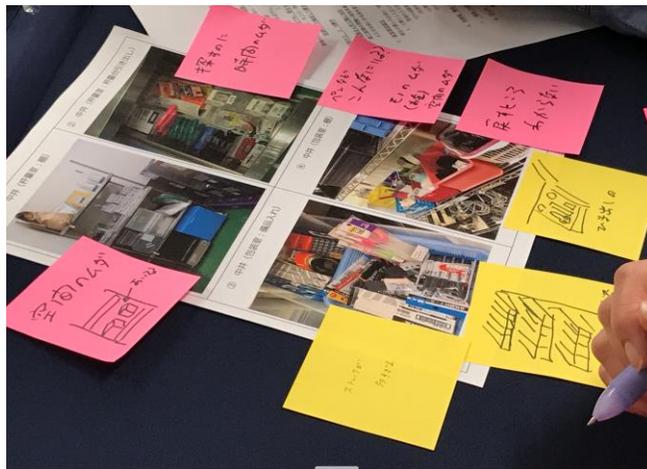
-バズセッションとワーク-

- 1) グループに別れ、役割を決める
- 2) 講演を聞いて感想を共有する
- 3) 現場画像の気づきを記入する
- 4) 気づきと問題点のまとめをする
- 5) シャッフルタイム
- 6) グループディスカッション
- 7) 目標設定とグループ発表
- 8) 質疑応答 & 講評
- 9) 代表者決意表明

製作物▶



▲製作中



▲現場写真を見て気づきを記入



▲発表

第3回 場所・モノの3Sから情報の3Sへ

整理とは、要るものと要らないものに分けること

整理

整頓

整頓とは、いつでも誰でも要るものが
すぐに（6秒）取り出せること

清掃

ゴミ・チリ・ほこり・汚れがない
ピカピカの状態を維持する事

情報の3S

seiri

seiton

seisou

第3回 情報の3S

-自社開発システムが出来るまで-

3Sの対象は、工場や工具などの**場所**や**モノ**に対してだけではありません。
情報、つまり紙の書類やパソコンのデータに対しても、**3S**は当てはまります。
第4回ではこの「情報の3S」にも焦点を当てていきます。

情報の3Sってなに？

モノ（工具・文房具）と同じぐらい探してるアレ

情報

- ・紙の書類
- ・紙の図面
- ・PCのデータ



すぐに取り出せますか？

通信



情報を取るために
走り回らない

複製・再利用



同じ情報を
何度も手入力しない

デジタル情報
の特性

保管



紙のまま
置いておかない

検索・計算・自動化



手作業で探したり
集計したりしない

第4回 ビジネスモデル変革とIoT化の体験学習①

IoT活用の順序

①経営課題 → ②生産革新

品質	コスト
ビジネスモデル	納期



効果の大きい部分や
定型業務に着目

その手段の一つとして
『情報』の行き来に着目

→ ③IoT活用



出入口が
多彩に!

デジタル情報の
特性を活かす

生産革新に見合う
ものだけでOK!

センサで広がる改善の手段

物が置かれている?



物が通った?



物との距離は?



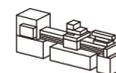
物の高さは?



物が回転している?



機械が動いている?



ライトが点いている?



温度・湿度



開いている?



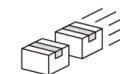
人がいる?



人が通った回数



物が通った回数



センサを活用することで、現場の様々な物事を視える化できます。「見に行く」「伝えるに行く」作業を自動化し、データを収集・分析することで、生産革新の手段は飛躍的に広がります。皆さんの現場でどのような視える化ができるか、そのインスピレーションを引き出すための基礎知識と考え方を伝授します。

第4回 ビジネスモデル変革とIoT化の体験学習②

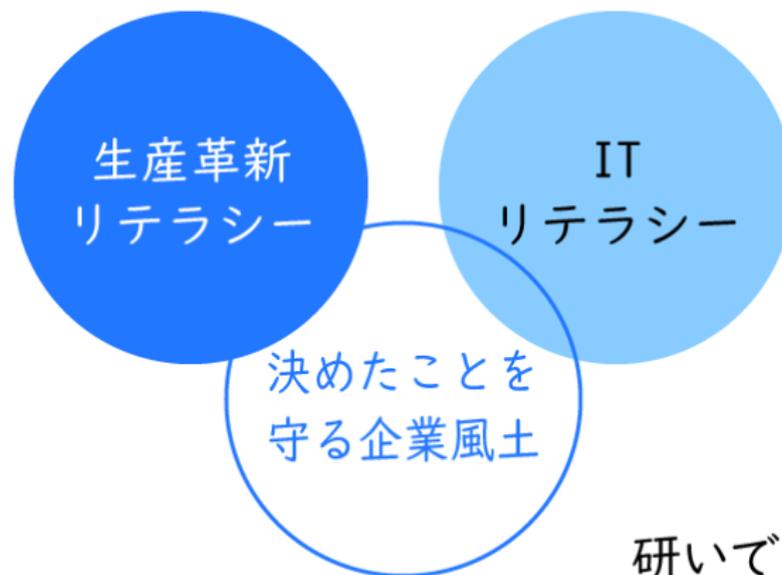
デジタル改革へのヒントを探る工場見学会の実施



最後に・・・

最後に纏めとして、IT活用を一気に定着させるために、
そして今までにない手段が出てくる時代に備えて、我々中小企業は、今、何をしておくべきか。

我々中小企業は何をなすべきか



この3つを会社の皆で研ぎ澄ましておく、これに尽きると思います。この3つは、
どのような時代になっても一生使うものであり、いずれも急ごしらえのできない部分でもあります。
本研修は、この3つの基礎体力を鍛える上で最適なカリキュラムとなっています。